

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について (平成29年3月検針分)

大東ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成29年3月検針分の単位料金を平成29年2月検針分に比べ、1m³当たり +1.75円(税込み)調整させていただきます。

今回の調整は、平成28年10月～12月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1か月に33m³のガスをお使いになる標準家庭で、5,306円(税込み)となり、平成29年2月検針分に比較して、58円(税込み)ガス料金が上がります。

なお、平成29年3月検針分に適用するガス料金につきましては、当社の本社や営業所の店頭での掲示や2月の検針票であらかじめお客さまにお知らせいたします。

■供給約款料金表

(税込)

	1か月の ご使用量	基本料金 (円/件・月)	適用単位料金		基準単位料金 (円/m ³)
			平成29年3月 (円/m ³)	平成29年2月 (円/m ³)	
料金表A	0m ³ から 20m ³ まで	785.16	146.48	144.73	159.96
料金表B	20m ³ をこえ 80m ³ まで	1,265.76	122.45	120.70	135.93
料金表C	80m ³ をこえ 200m ³ まで	1,719.36	116.78	115.03	130.26
料金表D	200m ³ をこえ 500m ³ まで	2,925.36	110.75	109.00	124.23
料金表E	500m ³ をこえ 800m ³ まで	5,365.36	105.87	104.12	119.35
料金表F	800m ³ を こえるもの	10,101.36	99.95	98.20	113.43

■平均原料価格・原料価格変動額・基準単位料金単価調整額

	平成28年10月 ～12月	平成28年9月 ～11月	基準平均 原料価格
平均原料価格 (円/t)	40,740	38,750	56,160
LNG平均価格 (円/t)	40,560	38,680	56,190
LPG平均価格 (円/t)	42,010	38,230	53,100
原料価格変動額 (円/t)	-15,400	-17,400	---
単位料金調整額 (円/m ³)	-13.48	-15.23	---

*LNG平均価格、LPG平均価格は、ともに貿易統計値。

■標準家庭における影響

(税込)

1か月のご使用量 33m ³	適用料金		増減
	平成29年3月	平成29年2月	
ガス料金 (円/月)	5,306	5,248	+58

*標準家庭ガス料金は、ご家庭1件あたり平均使用量/月(平成18年度～平成22年度の5か年平均)にもとづき算定しています。

<参考>

■原料費調整制度の概要

- * 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- * 「基準平均原料価格(56,160円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.08748円(0.081円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金が調整されます。
- * 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- * 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が89,860円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は89,860円としてガス料金の調整を行います。

■単位料金調整額の算定方法(平成29年3月検針分)

・平均原料価格の算定

LNG平均価格(貿易統計値)	40,560円/t	× 0.9479	
+ LPG平均価格(貿易統計値)	42,010円/t	× 0.0546	
	<hr/>		
	40,740.570		
		↓	(10円未満四捨五入)
	40,740円/t		

・原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 56,160円/t からの変動額)

40,740円/t - 56,160円/t =	-15,420円/t	
	↓	(100円未満切捨て)
	-15,400円/t	

・単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = -15,400\text{円/t} \div 100\text{円} \times 0.08748 = -13.48\text{円 (小数点第3位以下切上げ)}$$